



藤田 智之 議員

問

子宮頸がんワクチンの効果と接種助成は

答

国や県、県内市町村の動向を見ながら検討

**質問** 子宮頸がんワクチンの必要性や効果などもっと広報すべきではないか。接種に補助はできないか。計画した場合どのくらいの費用が予想されるか。

**答弁** (町長)

子宮頸がん予防ワクチンは、二つのウイルス以外は予防効果が確認されていないため、子宮がん対策としては早期発見のためのがん検診がより重要と考えている。今後も正しい知識の普及に努めていきたい。

一回当たり約一万五千円で三回の接種が必要であり、中学校の全女生徒に接種した場合の費用は、千二百二十五万円。

ワクチン接種の助成は、国・県、県内市町村の動向を見ながら検討する。

**問** 人材育成基金の今後は

**答** 事業の見直しも含め総合的に検討する

**質問** 人材育成基金では、どのような事業を行っているか。また残額の見直しは。

基金による事業は、中止なども含め、どの様に見直されるか。

**答弁** (町長)

基金による事業は、オーストラリアホームステイ二百二十万円、中学校修学旅行助成三百万円、語学指導外国青年招致九百五十万円のは

か、小学校宿泊訓練、幼稚園預かり保育、文化センター自主事業で合計二千六十万円を予定し、今年度末での残額は四千九百万円程度の見込である。

時間的な取り崩し型の基金であり、修学旅行助成は、来年度で終了する。今後については、受益者負担の適正化や事業の見直しなど総合的に検討する。



過日行われたホームステイ出発式

**問** 回覧板や防災無線をもっと利用してはどうか

**答** 内容により判断したい

**質問** 回覧板や防災無線の利用の基準は。

公共の利益にかなうものは、利用促進すべきと思うが要望などはあるか。

**答弁** (町長)

回覧板は国県などの行政や関係機関が住民周知を必要とする文書の配布を依頼しており、関係機関は社会福祉協

議会、交通安全協会、商工会などに限っている。

各種団体の会報やイベント情報、電話帳や住宅地図など要望もあつたが、回覧板の利用は、住民にその情報の周知が必要かどうかという考え方で判断したい。防災無線はその都度、個別の内容を検討し、放送するかどうかを決定する。

【その他の質問】

**問** 公共交通を充実させるための取り組みは

**答** 費用対効果なども踏まえて調査研究を進める





大相 守 議員

問

ルネサンス棚倉の現状と今後の運営は

答

新総支配人を中心に、イメージアップにつとめる

- 質問**
- (1) 四月二日から新経営陣となり二ヶ月が過ぎたが、状況は。
  - (2) 今後のイベントなどのあり方を含めた方向性は。

**答弁**(町長)

(1) 柴田総支配人を中心に組織の見直しを進め、営業体制の強化とこれまでの運営方法の点検を進めている段階。経営改善の指針は、昨年経営コンサルタントの指導のもとに策定した中期経営計画であり、現在は経営改善の入口に立ったところである。経営状況は容易なものではなく、町としても売り上げ回復へ



地元産食材も入った新メニュー

の取り組みを積極的に支援する。

(2) 内容、実施時期、集客方法等は、新しい経営陣の考え方のもとに実施されるものであり、当然変わっていく。町のイメージアップにつながる内容に期待する。

**質問** 議会や商工会や、まち工房たなぐらの方たちと、新経営陣との話し合いをもっては。

**答弁**(商工農林課長)

コンサルタントと分析をし、課題の解決に当たっている。今は経営の立て直しが最大の課題である。今後、そのような団体の方々にもご利用いただきたい。

**問** 六次産業に対する町の取り組みは

**答** 積極的にかかわっていく

**質問**

- (1) 六次産業に対しての町の考えは。
- (2) 県との連携は。
- (3) 今後、町として積極的に取り組むべきだ。

**答弁**(町長)

(1) 第五次棚倉町振興計画の、人、物の流れを作る産業づくりや、ぐんぐん伸びる産業づくりプロジェクトの中で、地域資源を活用した農業、商工業、観光の連携により生産から加工、そして流通が連携した産業体系、つまり六次産業化への推進を図る。県においては、平成二十二年から五年間、ふくしま、地域産業六次化戦略の推進を図る事とされ、一次二次、三次の各産業分野においてそれぞれの付加価値を向上、創造する仕組みをつくる。

**答弁**(商工農林課長)

いろいろな製品を開発しようとしてクラブには取り組んでいただいているので、県の六次化戦略に乗れるようにしたい。観光も含めて、幅広い六次化を考えている。

**質問** 棚倉町観光物産推進事業として町からの受託事業とは。

**答弁**(商工農林課長)

ふるさと雇用の県の基金事業を活用し、二名を採用した。物産の開発や広域に販売するためのネット整備として、より多くのイベントも開催していく事業である。



ブルーベリージャムをつくっているメンバー



鈴木 喜一 議員

問

地域産業六次化戦略は

答

意欲ある方々を支援



町の特産物となっているブルーベリー製品

**質問** 今年度から県は、五カ年計画で地域産業六次化を打ち出している。新たな事業展開や事業の拡大、継続的に必要な資金の支援や情報の不足など大変難しい事業であるが、どのような戦略を考えているのか。

また、年次計画を立て推進すべきと考えるがどうか。

さらに耕作放棄地の対応と結びつけた事業展開は。

**答弁** (町長)

アンケート調査や農業者と商工業者とのマッチング、あるいは連携を模索し事業化の支援を図る。さらに、アドバイザーの派遣が用意されている。

ブルーベリー愛クラブは、まさに遊休農地や転作田を活用してブルーベリー栽培をし、ジャム、ドリンクなど商品開発をし、六次産業化を実践している。今後も意欲ある方々を支援していく。

**問** 防ノ内堰用水路一部修繕は

**答** 関係機関との調整を図り必要な支援を行なう

**質問** 豊岡地区内のずい道出口水門が非常に危険な状態である。老朽化が進み地区民の補修も限界であり早期修繕が必要であるが、今までの経過は。

また、国・県での補助事業は。  
今後、どのような対策を考えているか。

**答弁** (町長)

平成二十二年一月二十五日から要請をいただき、施行方法、費用負担等について文書で回答した。事業規模が小さいため補助事業がない。町として、原材料の支給や機械の借上げにおける支援を行なう。

当該水路は、河川区域にあることから、関係機関との調整を図り、その手続きなど必要な支援を行なう。

◎ 第六次産業

農畜産物の生産(第一次)から、加工(第二次)、流通・販売(第三次)までを統合して行う農業の事業形態。

**答弁** (商工農林課長)

金額は上限を定めていない。他の地域の修繕同様に対応する。大きな金額になれば町も負担することになる。



老朽化が進む豊岡地内の水路



宮川 政夫 議員

問

医師過疎化対策は

答

関係機関と一体となり取り組む

- 答弁(町長)**
- (1) 医師の高齢化、開業医の減少、産婦人科医、小児科医の不足など医療提供体制は厳しい状況にあると認識している。
  - (2) 県南地区の医療施設従事者医師数は、国、県平均よりも少ない状況だが、現在は不足対策の検討はされていない。
  - (3) 郡医師会が中心となり、地域医療問題シンポジウムが開催された。今後、県南保健福祉事務所、郡医師会、郡町村会など、自治体と関係機関が一体となつて取り組む必要がある。

- 質問** 当地域は地域住民医が少なく、医師の高齢化も進んでいることから、医師過疎化が起こりうる地域である。
- (1) 当地域の医療体制の現況は。
  - (2) 中長期的な医師不足対策を検討すべき。
  - (3) 近隣市町村と連携し、安心できる地域医療体制を計画すべき。



東白川郡の基幹病院、  
増厚生病院

- 質問** 地域医療に関する担当町職員を配置すべき。
- 答弁(健康福祉課長)**
- 「どうにかすつべ東白川プロジェクト」という地域医療を考える委員会があるので、それらの中で協議していく。
- ※地域住民医  
病院の近くに住んでいる医師

**問** 授業時数増加分は長期休暇日数を減らして対応を

**答** 二学期制を取り入れて入れている当町では、減らす必要はない

- 質問** 学習指導要領の改正案は、学力低下を招いた「ゆとり教育」の見直しが大きな柱となっている。
- (1) 授業時数増加分は、夏休み等の長期休暇を減らして対応してはどうか。
  - (2) 国民読書年における読書推進策は。

**答弁(教育長)**

- (1) 二学期制の効果的な活用を図ることにより、長期休暇を減らす必要はない。
- (2) 活字離れを危惧している。読書年を契機にこれまでの事業を拡充させる。

**質問** 長期休暇には学力格差、生活の乱れなど弊害が出ている。今回の改正を機に日数削減を検討すべき。

**答弁(教育長)**

学習状況調査から、他地区に比べ家庭学習が少ないことがわかり指導している。先生方の勤務対応など、日数削減は問題が多い。

**問** 要保護児童対策地域協議会の活用施策を質す

**答** 子育て支援にかかわる機関連携の向上を期待する

**質問** 厚労省は、支援を要する子どもを視野に入れた「要保護児童対策地域協議会」の設置を進めている。

- (1) これまでの「虐待防止市町村ネットワーク」から、今回の協議会への移行により期待できる効果は。
- (2) 高齢者虐待防止対策など、子ども以外の相談体制も拡充すべき。

**答弁(教育長)**

- (1) 虐待は深刻な社会問題。協議会への移行により、機関連携が向上し、予防的対策が取りやすくなる。
- (2) この協議会ではなかなかわれないが、個別ケース検討会議などで、関係機関と共通認識を図る。



長すぎる夏休みは、  
学力・体力の格差に：



近藤 悦男 議員

問

## 介護施設整備について問う

答

## 町負担を求めない施設であれば歓迎

**質問** 介護施設入所者の待機人数はどの程度の人数か。

住民から介護施設の新設希望があるが、どのように把握されているのか。新設について、財源的デメリット、メリットなど検討されているのか。

また、経済的波及効果や社会的要請など、総合的な観点からの検討は、今後可能か。

**答弁** (町長)

五月末現在、待機者数は百十三名である。寿恵園の待機者数の九十四名が実待機者数であるところとらえている。現在のところ、他の事業者等

から新設する計画は受けていないので、新設希望はないと把握している。

財政的デメリットは、一般会計からの繰入金金の増額、介護保険料の増額。メリットは介護施設が建設された場合、建設業者の雇用の創出や資材調達、開設後の介護施設内での雇用、地元食材活用などの効果は見込めると考えられる。

**質問** 開設誘致に対して、町の協力は可能か。

**答弁** (町長)

町の負担が無い施設整備であれば歓迎したいと思う。



老人保健施設「久慈の里」

問

## 歴史と神社仏閣などの観光整備を問う

答

神社仏閣及び歴史的価値のある史跡を広くPRしている

質問

観光資源として総合的整備と積極的活用としてはどうか。玉室和尚の石碑や揭示物、道路を含めた周辺整備に取組んではどうか。

また、歴史資料館として独立した建物か、現在の建物を整備するなどしてはどうか。

**答弁** (町長)

本町の由緒ある神社仏閣及び歴史的価値のある史跡を広くPRしている。

**答弁** (教育長)

この地域は埋蔵文化財包蔵地で、民有地であることなどから、今後の整備は考えていない。歴史資料館の整備については、施設整備と併せて検討する。



赤館南側に設置されている玉室和尚の石碑

【その他の質問】

**問** 広報たなぐらの空きスペース利用について

**答** 広報たなぐらとホームページへの有料広告について検討している

**問** 城跡公園の桜景観を問う

**答** 景観維持と利用者の利便性の向上に努めている



松本 英一 議員

問

高規格道路の要望を

答

今後も関係機関へ要望

**質問** 福島県内で東白川郡だけが高規格道路がない。関係当局へ要望を。

**答弁** (町長)

茨城県北部から東白川郡、石川郡を縦貫して福島空港を結ぶ「FIT地域高規格道路」の建設を福島県知事に要望している。さらに、これにつながるルートとして、常磐自動車道、東北自動車道までの高規格道路についても、連携しながら、今後も引き続き要望していく。



高規格道路(喜多方市塩川町)

**問** 国道二一八号板橋玉野地区の道路改修案を示せ

**答** 期成同盟会を通して県へ要望

**質問** 国道二一八号、板橋字平治田から玉野字道ヶ作地内間の歩道設置と道路改修案を示せ。

**答弁** (町長)

平治田地内から、町道福井板橋線とのタッ

チ部分までの約二四〇メートルについて歩道設置工事を実施し、八月ごろまでには完了する見込みである。

S字カーブとなっている約二〇〇メートルの区間の歩道整備については計画

されないが、今後とも事業調整会議を初め、国道二一八号整備促進期成同盟会を通して、機会あるごとに福島県当局に対して要望活動を実践していく。

**問** 子宮頸がん予防ワクチン接種助成の検討を

**答** 国・県・市町村の動向を見ながら検討

**質問** 毎年、二万五千人が上皮がんを含む子宮頸がんと診断されている。今後、子宮頸がん予防ワクチン接種助成を検討してはどうか。

**答弁** (町長)

子宮頸がん予防ワクチンは、HPV十六型、十八型の感染による子宮頸がんに対して予防効

果が高いといわれており、中学生の全女子生徒を対象とした場合、千二百二十五万円の費用が見込まれる。

現在、国において予防接種のあり方の検討及び、国が助成すべきかを検討している段階でありますので、国、県、市内町村の動向を見ながら検討したい。

【その他の質問】

**問** 東京電力の共聴施設の停波に伴い、不徹底な管理体制をただす

**答** 協定内容の遵守と住民福祉の向上に努めるよう求めていく



鈴木 政夫 議員

問

国保再生と国保税の軽減を求める

答

滞納世帯は515世帯、滞納額は1億3千万円になっている

**質問** 今年度の国保税は、医療費分と後期高齢者支援金分を合わせ、一世帯あたり平均二万五千六百九十六円の引下げとなった。

引下げの要因は、前年度の医療費が抑制され剰余金九千六百万円を全額繰越したことによる引下げが実現した。

しかし、これで国保が抱えている問題が解決されたわけではなく、国保加入者の貧困化が大きな問題となっており、町として加入者の平均額、国保税滞納世帯と滞納額はどうなっているのかを問う。

**答弁(町長)**

十年前の加入者の平均所得額は二世帯百五十八万円で国保税の平均額は、十七万八千円。十年後の昨年度は平均所得額百五万二千円、国保税の平均額は二十万二千円となっている。

滞納世帯は、六月二日現在で五百十五世帯となっており、滞納額は十年前、六千九十万であったが、現在は一億三千万円となっている。

一人暮らし高齢者世帯の福祉施策を問う

在宅福祉事業で対応

**質問** 高齢者の一人暮らし世帯が増大し、病気、事故など不安がつきまとっている。町内では七十歳以上の一人暮らしの方が何人いるのか。

また、これらの人たちに對する福祉、介護対策はどのようなになっているのか。

答弁(町長)

七十歳以上で一人暮らしの世帯は、三月現在で三百一十五世帯となっている。健康状態の把握については、介護保険サービスのうち、保健協力員の協力で生活機能アンケートを実施し、健康状態を把握している。

一人暮らしの高齢者に対しては、配食サービス、寝具類洗濯乾燥サービス事業、老人福祉電話の貸与などの日常生活用具給付事業、デイサービス事業の生きがい活動支援通所事業、緊急通報体制等整備事業、軽度生活支援事業などを行なっている。



一人でも元気に生活している

東洋シャフトの創業は

情報収集に努め、早期の操業開始に向け連携を図る

**質問** 働く場所の確保は緊急な課題となっているが、町として企業誘致に成功していない。唯一、東洋シャフトが進出することになってはいたが、いまだに音沙汰無し。

進出を前提に土地の売却をしている以上これまでの経過と見直しについて町民に説明を求めたい。

答弁(町長)

会社側は世界同時不況の影響を受け、今後の経済見通しを考えると慎重にならざるを得ないと説明がなされている。

【その他の質問】

問 口蹄疫対策を問う

**答** 発生した場合は迅速な対応が必要と認識している



佐川 裕一 議員

問

町歴史的文化遺産の活用は

答

指定文化財の公開を検討



国の重要文化財指定を働きかけていく「金銀象嵌鉄剣」

質問

- (1) 本町出身「螢の光」の作詞者 稲垣千穎（いながきちかひ）の調査研究状況は。
- (2) 金銀象嵌鉄剣を国の重要文化財指定への進捗状況は。
- (3) 他の文化財も含め今後の方針は。

答弁（教育長）

- (1) 生涯学習課担当職員が、棚倉町史等調査や、川越市立博物館への資料提供をお願いしたところ、旧松平家藩主の子孫でつくる、当時の「三芳野温知会」の大正十二年十二月発行の会報

に、「故稲垣千穎君履歴概要」として、「君は磐城の棚倉生まれ」との記載があり、新事実であることが判明。

今後とも調査研究を行なっている中西光雄氏と連絡を取りながら、稲垣千穎について調査を進めていきたい。

- (2) 平成十五年三月二十五日に福島県の重要文化財に指定。全国的に見ても、現存する唯一の鉄剣で、日本の宗教史、美術史、工芸史、寺院史などの多くの歴史分野から注目されている。

流廃寺跡の国指定史跡を目指すという流れの中で、国の重要文化財指定を働きかけていく。

- (3) 町の指定文化財の保護、保存に努め、各種文化財の学術的調査、研修を実施し、貴重な文化財を広く公開し、文化財愛護精神の啓発に努め、無形文化財については、団体の支援と後継者育成に努める。

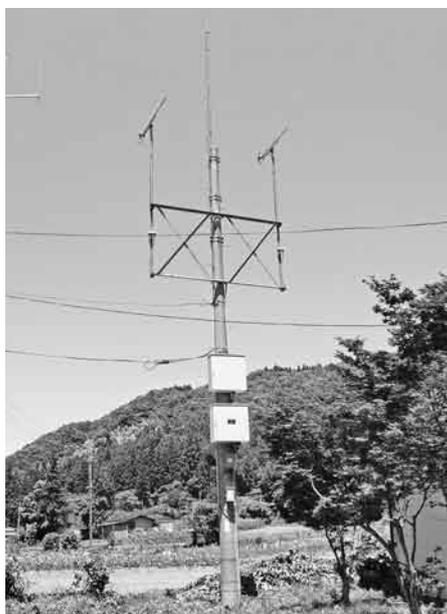
問 東京電力共同テレビアンテナ改修は

答 デジタル放送対応に改修

答弁（町長）

電力が町内に設置しているテレビの共聴施設は杜川地区及び高野地区内に六カ所。

この共聴施設は、送電線建設の影響で電波障害が発生する地域に設置された。地上デジタル放送への対応についても、東京電力が施設をデジタル放送に対応できるように改修を行い、改修後は、引き続き共聴施設を利用したテレビ視聴ができることになる。施設の改修は、平成二十二年度中に実施することだが、実施時期については未定。



地上デジタル放送対応への改修が待たれる共聴施設

問 口蹄疫対策を問う

答 家畜伝染病予防法を根拠としている指針などに基づき蔓延防止を図る

【その他の質問】